

令和8年度(2026年度)

# 進路だより

未来を切り拓く たくましく 心やさしい 子どもたちへ

札幌市立真栄中学校

第22号

令和8年(2026年)6月8日

## ☆北星学園余市高等学校(余市町黒川町)☆

学級にチラシを配付しました。

「学校見学会」(7月18日(土)9:30~13:30開催)について記載されています。参加申込締切は7月14日(火)です。同校Webサイトからの個人申込をお願いいたします。

電話、E-mail、FAXでも申込可、とあります。同じチラシを差し上げますので、希望者は係へお声がけください。

## ☆星槎国際高等学校札幌北学習センター(北区北11西4)☆

パンフレット等が届きました。

貸出できますので、希望者は係へお声がけください。

パンフレットや保護者向けイベント・オープンスクールについての書面を差し上げますので、希望者は係へお声がけください。

## ☆NHK学園高等学校(まなびや札幌;中央区北2東1)☆

パンフレット等が届きました。ポスターを掲示しました。

スクーリング協力校は、北海道有朋高等学校(北区屯田9条7丁目)です。パンフレットを差し上げますので、希望者は係へお声がけください。

## ★「Girls Meet STEM」★

第14号で、メルカリ創業者山田進太郎氏が設立した財団が、STEM(理系)分野への女子の進学率が低い現状に着目し、女子中高生向けのSTEM分野の企業・大学体験ツアー「Girls Meet STEM」を開催、と紹介しておりました。以前とは異なるポスターが届きましたので、掲示しました。

## ★高校講演会★

先週4日(木)、公立高校のお二方の先生に来校していただき、2回目の「高校講演会」を開催いたしました。お忙しいところ、御参加いただきました保護者の皆さま、ありがとうございました。

ありがたいことに、1年前のものとのことでしたが、学年全員にパンフレットもいただきました。

講演会后に、皆さんにたくさん綴っていただきましたが、少し紹介します。

- ・高校では、中学校に比べて諸活動がハードになるから体力も必要、というお話が印象的だった。
- ・私立高校同様に、学校祭や体育大会等、公立高校でも行事が充実していて楽しそうだと感じた。
- ・中学校に比べて、学習する教科が増えるというより、地歴科・公民科等、細分化され、同じ国語や英語でも時間割の中に複数の授業があり、すべて難易度が上がることがわかった。
- ・高校の授業は、中学校で学習したことが土台になるのだと再認識した。

また、講演会后、おふたりの先生と少しお話をさせていただきましたが、その際に伺いましたこと、記載いたします。

- ・今夏より校舎内のエアコンが使用が開始される。
- ・学校祭は昨年度同様、所定の用紙を受付に提出すると中学生も入校可能。

講師をお務めいただきましたK先生、S先生への質問もいくつか記されていました。ご回答をいただけましたら後日進路だよりでお知らせいたします。以下のものは、お二方からではなく、代わりに係からお答えします。

- ◎普通コース・グローバルコースともに自己推薦入試はありますか。
- ◎普通コース・グローバルコースともに自己推薦入試合格に必要なランクの目安、一般入試合格に必要なランクと当日点の目安が知りたいです。また自己推薦入試の面接ではどのようなことを聞かれますか。

→進路だより第20号を御参照ください。自己推薦入試の有無、自己推薦入試で求める生徒像、当日点とランクの比率等の学校裁量等、北海道内すべての公立高校入試に関する詳細が今月中に発表され、それをもとに進路説明会(7月6日(月))の資料を作成します。例年その資料を3年生の皆さんに事前配付し、詳しく説明をしますので、今しばらくお待ちください。保護者の皆さまには、説明会当日、資料を御持参いただくこととさせていただきます。そして、おおよそ、その資料の内容を親子ともに御理解いただいているという前提で、7月10日(金)からの期末懇談を行わせていただきます。よろしくお願ひ申し上げます。

→期末懇談では、公立高校の合格の目安について話題にさせていただきます。なお、自己推薦入試はすでに4回実施され、各校の傾向は掴んでいます。公立高校は受検したい高校に出願、私立高校は合格を見込める高校に出願、ということ等も進路説明会で説明いたします。

→面接試験については、よそ行きの自分を演じてはいけませんが、やはりある程度の練習は必要です。11月頃、過去の質問例等を掲載した小冊子を配付します。12月頃には、面接試験を控えた生徒の皆さんの練習が本格化します。御安心ください。

- ◎グローバルコースは、英語+中国語+ハングル語の学習ができると聞きましたが、他の言語の授業はありますか。

→ありません。

- ◎私立高校にはない公立高校の魅力は何ですか。また、同じ公立高校でも、道立高校と市立高校に何か違いはありますか。

→8月21日(金)開催の同校の学校説明会に参加して、情報を収集してください。授業料助成制度が拡大されても、公立・私立間で御家庭の経済的負担に差があることは、第16号を御参照ください。公立・私立を問わず、今後複数校の説明会に是非参加しましょう。

→道立・市立の差より、単位制と学年制の差は大きいと思います。

- ◎高校入試に向けて最も大切なことは何ですか。

- ◎おすすめの時間の使い方は何ですか。

係が答えることではないと思いつつ…。失礼します。

→学問を修めることを通じて自分を磨く、自分の力で人生を切り拓くための土台を作る、という考え方が肝要だと思います。テストの点数や合格の可能性が目がいきがちですが、その通過点が入試なのだと思えます。

→やはり「早寝早起き朝ご飯」が一番だと思います。一日あたりのゲームやスマホに費やす時間の削減を即実行し、30分間を生み出したとしたら、勉強時間をプラス15分間、睡眠や御家族との団欒にプラス15分間、という考え方をすれば、徐々に家庭学習時間が増えると思えます。家庭学習はまずは量を増やし、欲張りですが、さらに質も高めてほしいです。